

今週（11月10日から11月14日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、試し取りなどの特殊要因を除くと、0.475～0.478%近辺での出会いが中心となった。加重平均レートは、10日(月)に試し取り、12日(水)にBCP訓練による影響を受け、やや上昇する展開となったが、特殊要因が無かった11日(火)と13日(木)は、0.477%で推移し、14日も実質的な積み最終日となったが、特段大きな変化はなく、前日から横ばい圏での取引が中心となった。市場残高は、週を通して3兆円程度となり、前週対比で概ね横ばい圏で推移した。

ターム物は、0.4%台後半～0.7%近辺で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初492兆円台後半からスタートしたが、14日(金)には国債発行などを受けて490兆円程度まで減少する見込みとなっている。

●債券レボ市場

今週のGCT/Nは、0.495～0.500%での出会いとなった。週を通してオファーサイドのニーズが強く、レートは付利金利近辺で推移した。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した。

14日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ甘めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気・ガス、不動産、建設業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、週を通して概ね23兆円台前半で推移した。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/10 (月)	50,911.76	1.699	153.85	0.481	0.498	4,928,500
11/11 (火)	50,842.93	1.690	154.30	0.477	0.497	4,925,700
11/12 (水)	51,063.31	1.685	154.25	0.479	0.495	4,925,900
11/13 (木)	51,281.83	1.690	154.94	0.477	0.496	4,931,400
11/14 (金)	50,376.53	1.699	154.65	0.478	0.498	4,903,600

来週（11月17日から11月21日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
11/17 (月)	7-9月期のGDP1次速報(内閣府 8:50)	10Y 物価 11/18発行 2,500億円		
11/18 (火)			交付税借入 11/26借入 13,000億円	10月の米鉱工業生産・設備稼働率
11/19 (水)	10月の貿易統計(財務省 8:50) 9月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30) 9月の機械受注統計(内閣府 8:50)	TDB 1Y 20Y 11/20発行 11/20発行 32,000億円 8,000億円		10月の米住宅着工件数 10月のユーロ圏消費者物価指数改定値 10月の英消費者物価指数
11/20 (木)	小枝審議委員 新潟県金融経済懇談会における挨拶		交付税借入 11/28借入 13,000億円	10月の米中古住宅販売件数
11/21 (金)	10月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TDB 3M 流動性供給 11/25発行 11/25発行 43,000億円 7,000億円		

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/17 (月) 日銀予想	▲ 100	500	400	CP等買入 被災地支援 国債補完	▲ 100 ▲ 100 600		400	800	TDB3M発行▲43,000償還43,000 個人向け発行▲4,500償還800
11/18 (火) 弊社予想	100	▲ 7,000	▲ 6,900				0	▲ 6,900	10Y物価連動発行▲2,500
11/19 (水) 弊社予想	▲ 500	1,000	500				0	500	
11/20 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 8,000	▲ 9,000				0	▲ 9,000	TDB1Y発行▲32,000償還32,000 20Y発行▲8,000 エネルギー対策借入▲6,400期日6,300
11/21 (金) 弊社予想	▲ 1,500	▲ 2,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	交付税借入▲13,000償還11,000
週間合計	▲ 3,000	▲ 15,500	▲ 18,500	—	400	0	400	▲ 18,100	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.49～0.50%近辺での推移が予想される。短国市場は、19日(水)に1Y物、21日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、17日(月)に7-9月期のGDP1次速報、19日(水)に10月の貿易統計、9月の機械受注統計、20日(木)に小枝審議委員 新潟県金融経済懇談会における挨拶、21日(金)に10月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、19日(水)に10月の米住宅着工件数、10月のユーロ圏消費者物価指数改定値、20日(木)に10月の米中古住宅販売件数などが予定されている。(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入